

## 地震2年、熊本市職員 うつ、PTSD疑い88人

熊本地震から2年が経過した今年4月時点で、熊本市職員の少なくとも88人に、うつや心的外傷後ストレス障害（PTSD）の疑いがあることが市の調査で分かった。市労務厚生課は産業医との面談を促している。

2016年の地震後と17年に続く3回目のアンケート。市民病院の職員と教職員を除く全職員約9千人を対象に「食欲が増えたり減ったりしているか」「ささいな音に過敏に反応するか」など12項目を聞いた。

市は回答した2064人の4.3%に当たる88人に、うつやPTSDの疑いがあると判断した。内訳はうつの疑い38人、PTSDの疑い26人。24人は両方の疑いがあった。16年から3回続けて疑いがあるとされた職員は7人。

16年に疑いがあった職員は696人（回答の13.9%）、17年は130人（同7.2%）。同課は「原因が震災関連の業務にあるのか、自宅の被災などにあるのか把握し、目配りしたい」としている（高橋俊啓）